

# 元気なまちかど

## No.1 キャスターに初挑戦 夏休み子どもキャスター

市内の小中学生8人が、市の行政情報番組「きらめきこうか」に子どもキャスターとして出演しました。収録は市内ケーブルテレビ局「あいコムこうか」で2回に分けて行われ、1回目の8月17日には、児童4人が収録に臨みました。リハーサルでは、キャスターから原稿の読み方や立ち位置などが説明され、児童らは熱心に聞いていました。本番では初めての経験に緊張しながらも、原稿をしっかりと読み上げ、児童の一人は「ドキドキしただけで夏休みのよい思い出になった」と話しました。なお、子どもキャスターもキャスターが出演した番組は8月20日から9月3日まで放送されました。



▲スタジオで説明を受ける子どもキャスターたち

## No.2 音楽に合わせて楽しく運動 健康づくり体操教室

健康づくり体操教室が8月19日、甲南B&G海洋センター体育館で開催されました。これは健康運動指導士の中原今日子さんによるメタボリックシンドロームの予防などを目的にした全6回の講座です。5回目のこの日は10人の参加者が、おなかや腰回りの体操を行い、最後は軽快な曲に合わせてエアロビクスダンスを踊りました。90分間の運動で汗を流した参加者は、「最初は少しきつかったが、だんだん慣れてきて、今は体を動かすのが楽しい」と笑顔で話していました。



▲講師の指導を受けながら体操をする参加者

## No.3 地域おこし協力隊と一緒に 親子ふれあい講座「木工フラフト」

児童とその保護者を対象とした親子ふれあい講座「木工フラフト」が8月21日、土山中央公民館で行われ、9人が参加しました。講座では土山町山内地区の地域おこし協力隊・合田大智さんを講師に招き、地元産の杉を使った椅子やプランターが製作されました。くぎや金づちを使つての慣れない組み立て作業に、最初児童らは苦戦していましたが、合田さんからのアドバイスを受け、親子で協力しながら完成させました。



▲椅子の組み立て作業に取り組む親子

## No.4 子どもたちの快適な学校生活のために 教育施設等修繕奉仕活動

甲賀市商工会建設部会水口支部による教育施設の修繕奉仕活動が8月25日、水口地域で行われました。この修繕奉仕活動は、学校に通う子どもたちが新学期から快適でより安全に施設を使用できるよう、部会員らがボランティアで修繕活動を行うもので、今年で35回目を迎えます。この日は早朝から約30人の部会員が、班ごとに分かれて水口地域の小中学校や保育園、幼稚園で、看板杭の打ち直しや玄関ポーチのタイル修理など、一力所ずつ丁寧に作業を行いました。9月から子どもたちはきれいに整備された教育施設で気持ちよく勉学に励んでいます。



▲小学校で看板杭の打ち直しをする部会員

## No.5 学習活動の場としても活用 甲賀中学校図書館リニューアル

学校図書館活用支援事業を利用した図書館のリニューアル作業が8月25日、甲賀中学校で行われ、生徒や中学校・図書館職員など約30人が作業を行いました。この事業は、読書活動のほか、学習活動に図書室をより活用できるようにと実施されています。全ての図書を運びだし、本棚の掃除やレイアウトの変更を行った後、図書館と同じ分類法に基づいて図書を並べ直しました。今後、甲賀中学校では、学習に利用できる図書を県立図書館から借り、使いやすく生まれ変わった図書室を、授業などでも活用できるよう機能を充実させていきます。



▲図書室のレイアウト変更を行う生徒や関係者

## No.6 もち工房で「もち作り体験」 甲賀流おしごと道場

小学3年生から6年生の児童が地域の事業所で仕事体験を行う「甲賀流おしごと道場」が、8月18日から26日にかけて甲賀地域の20カ所で開催され、約50人が参加しました。将来を担う子どもたちと地域の事業所とをつなぐことを目的に、甲賀市商工会甲賀支所が昨年からは実施しています。甲賀もち工房では、5人の児童が体験に参加し、つくたてのもちにあんこを詰めたり、もちを生地に包んだり、工房の人に教えてもらいながら「よもぎもち」や「もちパイ」を作りあげました。商品を作る楽しさや難しさを学んだ後は、自分で作ったもちを「おいしい」と言って満足げに食べていました。



▲工房でもちパイ作りに挑戦する児童